

若いなかま

若いなかま No.206

2019 (令和元)年 11月15日 発行

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号
吉塚合同庁舎6F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail : net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.fayd.jp/>



目次

表紙	1
異年齢交流で育て！青少年 (育成キャンプ)	2・3
第41回少年の主張 福岡県大会	4・5

第21回 福岡県青少年囲碁大会	6
家庭の日・オアシス運動	7
「青少年育成 考」、その他	8

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。

(昭和45年 社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)

平成 31 (令和元) 年度

異年齢交流で育て！青少年 「育成キャンプ」報告

＝ 自ら学ぼう！育とう！青少年育成キャンプ ＝



キャンプ・受付

み出発し、班毎にバスに乗り込みにいきま

◆第一日目(8月7日)福岡県庁前の東公園で行われた受付では、参加者が各班担当の高校生リーダーから、帽子と名札・しおりを受け取りました。初めて参加する子ども達は緊張していましたが、高校生や学生達から優しく声をかけてもらって、笑顔も見られる等、少し緊張もほぐれているようでした。受付後の出発式では隣

県民会議が主催する「異年齢交流で育て！青少年く自ら学ぼう！育とう！育成キャンプ」が、8月7日(水)から11日(日)までの4泊5日、国立阿蘇青少年交流の家のキャンプ場を中心に実施されました。参加者は65名(小学生41名、中学生24名)とスタッフ24名(高校生9名、大学・専門学校生4名、社会人青年2名、看護師2名、健全育成部会7名)の89名でした。今号では、県民会議の特徴ある「育成キャンプ」の活動を報告します。

◆第二日目(8月8日)の午前中の活動は、「人気NO.1」の「沢登り」でした。全員が一同に活動できないために、半分ずつの人数で活動しました。まず、1班から4班までの児童生徒がスタッフと共に指導員から説明指導を受け、ヘルメットと救命胴衣を着用し、班を中心に2人ペアで沢(川)を登っていきま

ました。窓の外では沢山の保護者の方々が、手を振って見送って頂きました。なかには、4泊5日とは言え初めて親元を離れる我が子に涙ぐむ保護者もいました。◆予定通り12時30分には交流の家に到着しました。キャンプ場で昼食後、早速、入所式、オリエンテーション、テント設営と活動を進めていきました。野外調理では、特に薪割りや火起こし等に丁寧な説明指導が行われました。子ども達は危険な作業は、年長者と年下の児童生徒がグループになって作業を行っていました。異年齢集団の良さは、この様なときに発揮されます。夕食は定番のカレーでしたが、どの班も上手に美味しくできていました。



ネット依存学習

◆夕食後活動は、本年度から追加されたプログラム「ネット・ゲーム依存と野外活動」の学習でした。参加者は、自分の依存度をチェック用紙で確認した後、野外活動やスポーツ等、体を動かすことで「依存」を防ぐことが出来ることを学習しました。また、子ども達やスタッフは携帯やスマホ、パソコン等を何気なく使っているうちに「依存度」が増していることに驚いていました。なお、この学習は、スマホ・携帯等が無い中で「依存傾向」の子どもと、そうでない子どもと一緒に活動する「育成キャンプ」スタート初日に実施したのも意味がありました。

◆第四日目(8月10日)、登山の中止に伴って、交流の家の周辺で行うオリエンテーションを実施しました。各班、時間をずらして違うコースをスタートして行き、各ポイントに立っているポストの得点をスコアカードに記入していきます。子ども達は途中で、放牧された牛に出会い、記念写真を取ったり、阿蘇市が見える絶景に

◆第三日目(8月9日)の午前の活動は杵島岳登山でしたが、阿蘇山の噴煙が杵島岳方面を覆い、登山が中止になりました。従って「水基めぐり」の活動を行いました。「水基めぐり」活動とは、未だ復興中の国宝阿蘇神社の横参道(仲町通り)周辺にある、様々な湧き水(水基)の名前に由来する質問カードに答えを記入していく活動です。横参道には、アイスやジュース、ケーキ等も売られていて、子ども達は、冷たい水に触りながら、時にはアイスを食べたり、ジュースを飲んだりして、久しぶりにゆったりとした時間を班行動で楽しんでいました。当然、最初に阿蘇神社にお参りしました。また、昨年までは、片道1時間かかる阿蘇神社までの徒歩を「熱中症」を防ぐため帰りはバスで帰りました。

かったです。子ども達は、「大丈夫？」「ここは、すべりやすいよ。気を付けて」等と声を掛け合い、男女関係なく助け合いながら急流の岩を一步步登っていきま



沢登り

オリエンテーリング



いる社会人や学生達の7名が中心となって見や危険箇所の回避ルートの設定、スタッフのコース配置等の事前準備を行いました。
 ◆このボランティア登録制度も県民会議の特微ある取組で、現在24名の青年ボランティア



水基巡り

しばしの感動に浸ったりしながら、全ての班が、無事に楽しく活動を行いました。なお、この活動の企画・運営は、参加者OBで、現在、県民会議のボランティア登録者として、「育成キャンプ」を支えて

(高校生・専門学校生・大学生等)と9名の青年サポーター(青年ボランティアを卒業した社会人)の計33名が登録しています。全てこの「育成キャンプ」に小中学生の時に2回以上参加し、健全育成部会から承認を得た者です。救急救命等の研修にも参加し、ボランティア活動の時には、県民会議より学校長や職場の代表者へ派遣要請を行います。今ではボランティア・サポーター達の活動は様々な所から高い評価を受けています。

◆レストランでの夕食後、本館の大研修室で「お別れ集会」が開催されました。この日まで、班長を中心に活動の合間に出し物の練習を行ってきた成果の発表です。司会は愉快な仮装の青年・学生リーダー達が行い、各班からの工夫を凝らした、劇や歌の出し物が披露され、どの班の出し物も笑いと感動の場面があり、拍手喝采でした。高校生リーダー達も、みんなが一緒になって踊れるダンスを披露し大変盛り上がりました。翌日の夕方には、お別れしなければならぬ、仲間達と、「育成キャンプ」最後の夜を心から楽しむことが出来ました。

◆第五日目(8月11日)。いよいよ、最終日になりました。テントサイトやキャンプ場の清掃・点検の後、感想文を書きました。感想文に書く内容が多すぎて、なかなかまとめることが出来ません。その後、帰りのバスを使っ



お別れ集会

て、仙酔峡へ移動しました。登山が中止になって、阿蘇からの絶景を見ることが出来なかつたけれど、仙酔峡からは左の方に阿蘇山の噴煙、杵島岳(草千里の所)、阿蘇市内全景、正面には大観峰の絶景が見えました。みんな最後の記念写真に収まりました。

◆16時過ぎに県吉塚合同庁舎へ到着し解散式がありました。沢山の家族の皆さんが迎えに来てくれた中、ちよっと日焼けし、遅しくなつた子ども達の顔にも安心感が見えます。事務局長やキャンプ長の挨拶の後、参加した全ての子ども達へ「修了証」が交付され、修了宣言後、沢山の拍手がわき起こりました。皆さん「育成キャンプ」で経験した考えや行動を、今度は学校や家庭で活かすよう行動して下さい。お疲れ様でした。



「修了証」の交付

◎同行感想・健全育成部会の大人が小中学生を直接指導していた時期から、今や、当時小中学生で参加していた社会人や学生・高校生達が良きリーダー指導者に育つてきました。今キャンプ中でも小中学生が就寝後、「小中学生にどのような姿勢で指導するべきか」を高校生達だけで話し合いました。深夜に及ぶ真剣な話し合いは、高校生達にとっても人生の大きな経験の一つになりました。青年スタッフの皆さん、社会に貢献している「誇りと自信」を持って下さい。「正に自ら学ぼう!育とう!」の育成キャンプでした。

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

福岡銀行



わたしの
主張
2019

第41回少年の主張福岡県大会

～いま、中学生が訴えたいこと～

とき 令和元年9月7日(土) ところ 田川文化センター(田川市)



家庭、差別、命の尊さ、家族の問題、災害、戦争、社会問題など多岐に渡り、自分の体験をもとに思いや悩み、苦しみ、喜びなど説得力ある発表で、一人ひとりの思いが会場の皆さんや審査委員の心にぐっと広がり、審査委員一同、非常に心に響き、すばらしい発表だったとの感想でした。

9月7日、第41回令和元年度少年の主張福岡県大会が田川文化センターで行われた。福岡県青少年育成県民会議(以下「県民会議」)が主催し、糸田町、糸田町教育委員会、県民会議田川地区協議会が共催した。開会に当たり、県民会議の長井政典会長が、「炭坑節の故郷、田川で開催できてうれしい。発表者のみなさんは失敗してもいいから、のびのびと発表してほしい」と呼びかけ、エジソンの言葉「私は失敗して一歩としない。どんな失敗も新たな一歩となるからだ」を紹介した。続いて、開催地を代表して、榊田哲也田川地区協議会会長が挨拶。さらに、来賓を代表して、福岡県知事(代読)と森下博輝糸田町長から祝辞をいただいた。伊藤一義審査委員長が審査の基準は「説得のある話し方、共感・感銘の取り方」などと説明した後、中学生の主張が始まった。約300人の応募者から選ばれた女子11人、男子6人の計17人が一人ずつ演壇に立ち、聴衆に向かつて思いを語った。発表の内容は多岐にわたった。いじめ、不登校、母子家庭、父子

※次回開催は、令和2年8月29日(土)筑後市で開催される予定です。

家庭、ジェンダー、九州北部豪雨などでの被災、言葉の問題、パソコン教育など。どの中学生も自分の体験や考察を自分の言葉で紡いで、堂々と語ってくれた。審査結果を待つ間、アトラクションとして、糸田町の和太鼓「たぎり」の演奏があった。「たぎり」は今年の日本太鼓ジュニアコンクール全国大会で優勝しており、小学生から高校生までが日本一の腕前を披露してくれた。いよいよ審査発表。福岡県知事賞に山岡由愛さん(田主丸中学校1年)が選ばれた。山岡さんは、12月に東京都で行われる少年の主張全国大会に福岡県代表として推薦される。また、福岡県教育委員会賞、糸田町長賞、優秀賞第一席、審査委員特別賞、優秀賞(12名)が選ばれた。



優秀賞受賞者

(発表順)

氏名	題名	学校名	学年
河野 夏未	私達の脱出	照曜館中学校(北九州市)	2年
木村 太紀	思い出あふれる人生を	中間市立中間南中学校	3年
松嶋 涼菜	ルールと思いやりを考えること	福岡県立宗像中学校	3年
藤原アレックス 偉智朗	ぼが思う、日本の教育の改善点	福岡県立宗像中学校	1年
萬徳 達也	みんなが笑顔になれるように	添田町立添田中学校	2年
石井梨央奈	心に残る言葉	行橋市立泉中学校	3年
諏訪 丈寛	平面から立体へ	久留米市立江南中学校	2年
中西 由華	今よみがえる1,036人の思い	中間市立中間北中学校	3年
白石 よしの	大人になる	福岡教育大学附属久留米中学校	3年
迫田 芽愛	私のヒーロー	飯塚日新館中学校(飯塚市)	2年
須山 敦稀	災害への意識	久留米市立北野中学校	3年
濱崎 和凜	「常識」を疑ってみること	中間市立中間中学校	3年

講評

審査委員長
伊藤 一義 氏

発表された17人の主張は、不登校、差別、命の尊さ、家族の問題、災害、戦争、社会問題など多岐に渡り、自分の体験をもとに思いや悩み、苦しみ、喜びなど説得力ある発表で、一人ひとりの思いが会場の皆さんや審査委員の心にぐっと広がり、審査委員一同、非常に心に響き、すばらしい発表だったとの感想でした。

福岡県知事賞に選ばれました「山岡由愛」さんは、お兄さんのように友達を思いやり、友達のために行動できるとともに、人のために一人でも頑張る勇気と優しさ、そんな強さを追い求めたいという内容で、審査委員はじめ会場の皆さんの心に響き、共感を得ました。

今回、皆さんは大変すばらしい体験をしました。素晴らしい感性と才能を持っていると思います。これからの活躍を期待したいと思います。これからも頑張ってください。

兄は、小学生の時、ゲーム機の3DSを持っていないという理由で、仲間外れにされたことがあります。休みの日に野球をしている友達のこと

「お兄ちゃんより私の方が年上みたいです。」
「私はお姉ちゃんやん。」
そんな気持ちを持つようになりま

みなさんは、「強い人」と聞いてどんな人を思い浮かべるでしょうか。「重い物を持ち上げる人」「何をやっても一位の人」「ケガをしても、グッとがまんできる人」などいろいろ想像できますが、そのような人たちに比べて私の二つ年上の兄は、やせ型で力も弱く、運動も得意ではありません。



福岡県知事賞



「強い人」

久留米市立
田主丸中学校1年
山岡 由愛
(全国大会推薦者)

に行っても、野球が下手なので仲間に入れてもらえなかったこともあり。何度も仲間外れにされました。兄はコミュニケーションが苦手な落着きもありません。先輩にいじめられて、体にたくさんのあざができていたこともあり。そんな兄を私は「もっと強い人になってほしい」「なんでもいじめられてばかりいる」といらいらだつ気持ちでみていました。弱い兄に強くなってほしい。それが私の心境でした。

兄に對する私の気持ちに、大きな変化が起きたのは、今年の五月の体育祭のことです。体育祭の応援合戦はダンスを踊る場面があります。兄のダンスのペアの相手は、あまり学校に來れていない友達だったので、練習で兄はいつも、一人でダンスを踊っていました。

「体育祭の応援合戦のダンス、一人で踊らないかとよ。」
家で兄は、笑いながら言っていました。私も練習の時、相手が休みで一人だけダンスを踊ったことがあります。その時は一人で踊ることが恥ずかしくて、いつも通りには踊れませんでしたし、嫌でした。しかし兄は、

一人で踊ることを嫌だとも、ペアの友達のことを悪く言うこともありませんでした。
本番に、ペアの友達がこれない場合、兄は一人でダンスを踊ることになります。それでも、兄は練習中、全く恥ずかしがらずに、堂々と胸を張って踊っていました。毎回一人で踊っているの、「お前の相手だれ。」と心配してくれるクラスメイトもいたほです。もし、兄が他の人とペアを組んでしまうと、元々のペアの友達が踊ろうとしても踊ることができません。それで兄もあえて一人で踊っていたのかもしれない。結局本番も兄一人で踊ることになりました。兄が胸を張って堂々と踊る姿はとてまかつこよく、見ている私は兄を誇らしく、そして頼もしく思えました。こういうものも強さなのだと思います。

「強い人」とは「人のために一人でも頑張れる勇気や優しさのある人」のことでした。私も兄のように、友達を思いやり、友達のために行動できる「強い人」になりたいです。
兄がいじめられることは今は全くなくなりました。兄は所属する卓球部で一年生に教えていることもありました。兄はきっと誰にでも優しく接していくと思います。この先、いいことも嫌なこともあると思いますが、大切な家族として一緒に助け合いたいと思っています。

人のために一人でも頑張れる勇気や優しさそんな強さを私も追い求めたいと思います。

「あいつ」は魔法の言葉



審査委員会特別賞



飯塚市立
穂波西中学校3年
秀島 岬

優秀賞第一席



久留米市立
田主丸中学校2年
眞弓 結衣

糸田町長賞



柳川市立
柳南中学校3年
近藤 凜奈

福岡県教育委員会賞



福岡県立久留米
聴覚特別支援学校3年
石河 大地

「あいつ」は魔法の言葉

逃げるのは、負けじゃない

おじさんがくれたパン



第21回福岡県青少年囲碁大会

日時：令和元年8月18日10時～
場所：福岡県吉塚合同庁舎6・8階

第21回 福岡県青少年囲碁大会



- ☆第21回大会プログラム☆
- ★開会式
 - ★県知事杯争奪戦 10時～
小学生・中学生・高校生
 - ★異年齢交流対戦 10時～
 - ★ふれあい囲碁教室10時～12時
 - ★講演会
13時15分～13時30分
 - ★プロ棋士による多面打ち
13時40分～15時30分
 - ★閉会式・表彰式 ★お楽しみ抽選会

初級以外ハンディー戦。年齢差のあるお兄さん・お姉さんとの対局も見られる。一定の勝率基準を超える者には昇級の級位認定も付与

異年齢交流対戦131名
上級（9級以上）中級（10級～19級）初級（20級～初心者）に分かれ、クラス別対局。中国江蘇省で開催される「福岡県江蘇省青少年囲碁交流大会」において福岡県代表青少年棋士の候補となる。



県知事杯争奪戦26名
今年小学生10名・中学生12名・高校生4名参加。例年より参加者は少ないが、精鋭揃いで厳格なルールの下、熱い対局を展開。高校・小学生部門では表彰者が一新された。各部門の成績優秀者は来年3月中国江蘇省で開催される「福岡県江蘇省青少年囲碁交流大会」において福岡県代表青少年棋士の候補となる。

開会式 今年の大会で第21回を数える。約200名の参加者を得て、猛暑の中、吉塚合同庁舎を会場に始まった。開会式冒頭長井政典実行委員長からのあいさつで、囲碁界に10才4ヶ月でプロ入りした女性棋士の仲邑 董さんや若手棋士が続々と登場したことを紹介し、会場の参加者を激励した。日本棋院東京本院所属の大淵盛人9段、武宮陽光6段を紹介、吉田壽一審判長からの「ルール説明」の後、参加者は各会場に分かれ、終日熱戦を繰り広げた。

プロ棋士による多面打ち
13名（講師大淵盛人9段）小3～高2まで14級から



講演会 講師 武宮陽光六段
午後から講演会を開催。4千年ほど前に中国で誕生したとされる話し、三国志の英雄、関羽や孔子にまつわる囲碁の話し等、囲碁の歴史を話された。さらに、現代のAIアルファ碁の話は驚嘆するものだった。最後に「現在囲碁は世界各国で普及、長い歴史の中でとても分かりやすいルールも確立され、全世界での愛好者何千万人とも言われている。世界の誰とも手軽に打てる交流ツールでもある。みんなも囲碁を続け、もっともつと上手くなってください。」と呼びかけた。

講演会 講師 武宮陽光六段
午後から講演会を開催。4千年ほど前に中国で誕生したとされる話し、三国志の英雄、関羽や孔子にまつわる囲碁の話し等、囲碁の歴史を話された。さらに、現代のAIアルファ碁の話は驚嘆するものだった。最後に「現在囲碁は世界各国で普及、長い歴史の中でとても分かりやすいルールも確立され、全世界での愛好者何千万人とも言われている。世界の誰とも手軽に打てる交流ツールでもある。みんなも囲碁を続け、もっともつと上手くなってください。」と呼びかけた。

ふれあい囲碁教室20名（講師武宮陽光六段）
初心者対象イベント。2才児から小学1年生まで保護者も加わり参加。講師の「どのようにして石を取るのか、隙間、攻めのやり方など」優しく、わかりやすい説明・指導の後、紙製囲碁盤を使い、楽しそうにペアで実践していた。ぜひ来年度は異年齢交流対戦デビューを飾ってほしい。



する。また、基準以上の勝数取得者には知事奨励賞が授与される。初心者で勝敗がわからない参加者には審判員が的確な判断を下し、アドバイスをしていた。あとちよつとで知事奨励賞をもらえる。最後まで頑張っている青少年棋士も数人見かけた。

- 講師・審判スタッフ**
- 多面打ち 武宮陽光六段
 - 講演会 大淵盛人九段（日本棋院常務理事）
 - MC 武宮陽光六段
 - 審判長 轟あゆみ（日本棋院筑紫野支部）
 - 副審判長 吉田壽一（本大会実行委員）
 - 審判員 渡邊祐介（本大会OB）
 - 審判員 九大囲碁部 寺下龍太郎・深江友博
 - 宮崎智広 本大会OB 立光康真 本大会OB

～県知事杯争奪戦対戦結果～

優勝 角 優勝 横手小学校4年	優勝 木村啓太郎 北九州工業高専3年
準優勝 古屋 里峯 合若小学校5年	準優勝 水町 竜也 西陵高校2年
三位 川西 翔太 片江小学校4年	三位 井上葵乃介 筑陽学園高校2年

● 小学生の部（10名参加）

優勝 田道 啓大城西中学校3年
準優勝 出口 稜 貞育徳館中学校2年
三位 岩重 修司 高取中学校2年

● 高校生の部（4名参加）

初段までの13名が2回に分け、プロ棋士に挑戦。講師の意向で例年より時間を延長して実施。丁寧・的確なアドバイスに各参加者はとても満足していた。小4のある男子は「わかりやすく、優しく教えてもらった。悪いところだけでなく、良いところも褒めてもらってうれしかった。」と述べていた。最後に、後日、講師から「参加者数、スタッフ、支援企業、日中の交流などその規模、仕組、関係者の熱意の点でこうした大会は全国でもあまり見当たらないのではないかと、とても素晴らしい大会です。」とのありがたい評価をいただいた。



ココロがある。コタエがある。

誠実なココロで人と向き合い、ベストなコタエをご提案する。それが、創立以来ずっと変わらない西日本シティ銀行の仕事です。お客さまの人生のパートナーとして、企業の皆さまの事業のサポーターとして。「総合力No.1の地域金融グループ」を目指して、私たちは挑戦し続けます。

15th ANNIVERSARY

西日本シティ銀行

～子どもの健やかな成長は家庭から～

「家庭の日」・「オアシス運動」が地域に広く普及するよう小・中・高校・特別支援学校生を対象にポスター及び作文を募集しました。今年度は総数1,044点の応募があり、1次審査、2次審査を経てそれぞれ最優秀賞1名、優秀賞作文の部9名、ポスターの部7名、奨励賞20名が決定しました。入賞した作品のうち、最優秀作品を紹介します。

なお、令和2年1月アクロス福岡に於いて入賞作品の表彰式及び展示を、2月初旬に県庁ロビーで展示を予定しています。

家庭の日・オアシス運動

—最優秀作品の紹介—

◇ ポスターの部 最優秀賞

九州産業大学付属九州高等学校
1年 松尾 碧



◇ 作文の部 最優秀賞

あいらつの輪

福岡県立嘉穂高等学校附属中学校
2年 佐田 蒼衣

「おはようございます。」
今朝も校舎にあいさつの声が鳴り響く。

私の通っていた小学校では、あいさつ月間という活動が行われていた。その活動とは、日替わりで各クラスが登校してきた友達や先生にあいさつをするというものであった。あいさつ月間を行うことで友達にあいさつをするという習慣が付き、あいさつ月間でなくともあいさつの輪は繋がっていた。

二年前、私は小学校六年生となり、最上級生としてあいさつ月間中のあいさつを見守っていた。その時、ある小学校四年生の男の子のあいさつに感銘を受けた。一人一人におじぎをしていただいだ。私はもう一度、あ

いさつのありかたについて考え直してみた。多くの児童は「大きな声であいさつをする」という目標を達成するためにあいさつをしていることだろう。私もそうだった。しかし、あの男の子は「あいさつを贈る」ためにしているように思えた。ただおじぎをすれば良いのではない。相手に気持ちよく贈るということが一番を考え、思い、伝えるあいさつをするのだ。簡単なことではない。そう思った。

「おはようございます。」という挨拶について、ちやうどあいさつについて考えるようになった頃、クラスでどのようなあいさつをしていきたいかについて話し合いが行われた。私は勇気を出して、気持ちを「贈るあいさつ」を目標とするよう提案したところ採用された。一人ですることになると心許なかったが、クラスみんなでするので心強く前向きになった。

いよいよ、私たちのクラスの番が廻ってきた。やはり、簡単ではなかったが、みんなと同じ目標に向けて頑張れたことはうれしかった。達成感もあった。そして、何よりも楽しかった。段々と慣れてきたある日、同じ学年のクラスも丁寧におじぎをしな

がらあいさつに取り組んでいるところを見かけた。あいさつの輪が強くなってきたと実感できた。少しずつ、少しずつ、あいさつの輪が強く

結び、また幼い一年生もおじぎをするようになった。あいさつは多くの人の心をつなげることができる最高の言葉だと強く感じた。

私は今、嘉穂高等学校附属中学校

優秀賞

【ポスターの部】

- 柳川市立城内小学校 1年 甲斐仁実
- 柳川市立六合小学校 2年 津留芽来
- 柳川市立垂見小学校 3年 田中もあ
- 柳川市立城内小学校 4年 荒木悠加
- 苅田町立馬場小学校 5年 川原優希
- 苅田町立馬場小学校 6年 福井若葉
- 遠賀町立遠賀南中学校 1年 足立美月

【作文の部】

- 柳川市立城内小学校 1年 洪江玲至
- 久留米市立篠山小学校 2年 古田姫菜
- 柳川市立西開小学校 3年 森田夏帆
- 久留米市立南薫小学校 4年 仲摩優花
- 行橋市立榊田小学校 5年 竹下紗由
- 福岡市立東若久小学校 6年 児嶋悠世
- 福岡県立嘉穂高等学校附属中学校 3年 野崎深優
- 柳川市立三橋中学校 3年 原田萌杏
- 福岡県立福岡魁誠高等学校 3年 白谷梓紗

に通っている。この学校では「あいさつ」が伝統の一つになっている。開校してまだ五年ほどしか経っていないが、先輩たちが受け継いできたのだ。小学生のときのようなあいさつより一つ、いや二つ三つほど上のあいさつが求められた。初めて聞いた時は驚いた。「いつでも、どこでも、誰とでも、何時でも」をモットーに静止礼をする。手の位置やおじぎをする角度まで求められた。最初はとまどいもあり、ぎこちないあいさつだったが、今の私はそうではない。後輩のお手本ともなるあいさつを意識するまでとなった。あの時の強く結ばれ、繋がったあのあいさつの輪を思い出しながら、この中学校のあいさつの輪の伝統をより良く大切にしていきたいと思う。

「おはようございます。」
今朝も校舎にあいさつの声が鳴り響く。新しいあいさつの伝統を受け継ぎながら。



西日本新聞会館 16F 天神スカイホール

天神ど真ん中のホスピタリティホール

福岡・天神の多目的ホールとして「心からのおもてなし」を提供します。講演会、シンポジウム、研修会、同窓会、各種パーティー、記念行事など多目的にご利用いただけます。



事務局だより

主な行事 (R1年7月22日～11月15日)

- 7月 16日(火) 青連協常任委員会 (以降、8/22、9/17、10/30)
第5回広報部会
少年の主張大会第二次審査
26日(金)
少年の主張大会第二次審査
8月 1日(木)～9/10日(火) 「家庭の日」「オアシス運動」作品募集
1日(木)～10/10日(木) 福岡県民さわやかマラソン大会参加者募集
2日(金) 福岡県青少年囲碁大会実行委員会
7日(木)～11日(日) 「異年齢交流で育てー青少年(育成)キャンプ」
18日(日) 第21回福岡県青少年囲碁大会
9月 4日(木) 第6回広報部会(以降、9/30、10/11・28、11/5・18)
少年の主張福岡県大会
25日(木) 第2回家庭部会
30日(月) 第4回健全育成部会
10月 3日(木) 「家庭の日」「オアシス運動」作品
ポスター第一次審査
4日(金) 「家庭の日」「オアシス運動」作品
作文第二次審査
11月 2日(土)～3日(日) 第29回福岡県ジュニアリーダー養成研修(青連協)
24日(日) 福岡県民さわやかマラソン大会

赤い羽根共同募金
高齢者、障害者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援します。災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営にも役立ちます。
この広報紙は、共同募金の配分を受けて発行しています。

青少年育成考

「青少年の健全な育成を通して」



公益社団法人福岡県青少年育成県民会議理事
宇美町青少年育成町民会議 会長
猪瀬 正典

本町の青少年育成町民会議は、県内で最後から2番目、平成10年に設立しました。青少年に関わる31団体の代表の会議の中で、組織作りを取り組むこととなりました。事業については、役員会で話し合いました。最初は、「少年少女の主張大会・青少年の声(標語)の募集」を決定、町内3中学校・5小学校へ教育委員会社会教育課を通じて文章を依頼、当初は発表してくれる児童・生徒がいるのかなとも思っていました。各小中学校の校長先生を始め担当の先生方の協力で、平成11年11月中旬に第1回目の「少年少女の主張大会」及び子どもフェスタ(現在、ふみの里まなびの森フェスタ)を開催することができました。当日は、児童高学年5名・生徒3名が堂々と中央公民館ホールにて発表する姿を拝聴し、主催者側として大変感動をいたしました。町民会議も20年を迎えました。少年少女の主張大会「中学生の優秀作品を

県民会議へ推薦、県大会にて県代表として推薦を受け、全国にて発表した生徒がいたこと、実施してよかったと思うところです。
また、「青少年の声(標語)」の募集も毎年沢山の作品を提出していただきました。最優秀作品は「少年少女の主張大会」にて表彰状の授与、及び看板を作成して各学校の入り口近くに掲載をしています。
また、社会教育委員から提言された「あいさつ・声かけ運動」を町民会議が主体となって行うことで合意、3月上旬に宇美町駅前、中学校前等で各団体代表の方々に協力を頂き3日間で延べ約130名の動員を頂き、通勤・通学者の皆様へ「あいさつ・声かけ運動」キャラクター「おハロー」も作成し活動を行いました。
今後とも、各青少年に関わる団体と絆を深め、青少年の健全育成に努めてまいります。

編集後記

毎年、夏休みを挟んで青少年育成県民会議は多くの事業を企画しています。中でも「異年齢交流で育て青少年・育成キャンプ」は参加者もスタッフも1年がかりで取り組む大掛かりな行事です。今回は阿蘇山噴火の影響で杵島岳登山は中止になりましたがオリエンテーリングに切り替え登山とは一味違った自然の素晴らしさを体験。囲碁大会は日本棋院所属のプロ棋士お二人を講師に招き新たな風が吹き込まれました。少年の主張大会は田川市で開催され選ばれた中学生十七名が様々なテーマで熱弁を奮いました。今年の夏の子どもたちの様々な活動・活躍をお伝えいたしました。

県民会議広報部会長 馬場京子

青少年の健全育成のために

賛助会員入会のお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議は、少年の主張大会、野外学習、マラソン大会など、様々な活動をしています。

県民会議では、賛助会員の募集を行っています。会費は左下のとおりです。電話(092-643-6001)をいただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

Table with 3 columns: Category (個人, 法人又は団体, 特別賛助会員), Amount (1,000円, 15,000円, 50,000円)

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。

- 西日本シティ銀行千代町支店 (普通預金) 3053033
福岡銀行県庁内支店 (普通預金) 526475
筑邦銀行福岡営業部 (普通預金) 1597091
福岡中央銀行本店 (普通預金) 1030569
ゆうちょ銀行振替 01700-5-4057



この用紙は、森林資源保護のため再生紙を使っています。